

あなたが市長なら

鎌ヶ谷市をどんな街にしたいですか・・・

ふじしろ政夫

二回目の緊急事態宣言が解除されましたが感染第四波の襲来が心配される状況です。大阪では新規感染者が 900 人を超え東京は 500 人前後で下どまり。変異株が増えてるようです。ワクチン接種が始まっていますがどこまでワクチンが準備できるのか、どこまで安全か情報が錯綜しています。PCR 検査、軽・中・重症者への医療体制も十分に整っていません。

今はコロナ対策に十二分に対応しなければなりません、そのような中清水市長は 4 月 7 日千葉での記者会見で、5 期目の任期途中で市長をやめて衆議院選挙に立候補すると表明しました。

新型コロナウイルス感染症/パンデミックの真最中です。私たち市民は“責任を持って 11 万鎌ヶ谷市民の命と生活を守る私たちの街のリーダー”を選び出さなければなりません。

あなたが市長なら今何をすべきと思いますか？これからの鎌ヶ谷市をどんな街にしていきたいですか？一緒に考えましょう。

コロナ対策

今すぐ安全性を確認しつつワクチン接種体制を一日も早く整え実施することであり、同時に無症状感染者を徹底的な PCR 検査で発見し隔離治療することで集団感染(クラスター)を抑えるような体制をとることです。

鎌ヶ谷市は高齢者全員を対象にした PCR 検査を実施していません。施設の従業員に対する PCR 検査(国・県が実施し始めた)もどのくらい行われているかまったく把握していません。

県知事はくまがい知事になりました。県と市との連携を密にして PCR 検査体制・医療体制についても鎌ヶ谷市として 11 万人市民への対応策を作り出していく必要があります。

出かける福祉

コロナ禍で仕事がなくなってしまった人、住む場所を失った人などもっともその影響を受けた人々の生活基盤を守るため市が“出かける福祉”でその実態を把握して「生活保護は国民の権利」を具体的に実現していかなければなりません。

自然との共生・再生エネルギー

コロナ、大災害の気候変動(温暖化)の原因は人間の経済活動により地球環境を壊してきたことによると誰からも指摘されています。自然の再生・生態系ネットワークの街づくりを力強く進めることで温暖化ガス排出ゼロを目指した街づくりが必要です。新鎌ヶ谷地区で“再生可能エネルギーの街づくり”(モデル事業)を進めましょう。

福祉

“子ども達が安心して健やかに成長していく街・安心して子を産み育てられる街”を創るため保育所整備、待機児童ゼロ、学童拡充、学校給食の無償化と有機食材(ゲノ



習志野保健所の PCR 検査器

ム編集の食材は使わない)、少人数学級の実現、自然の中で飛び回って遊べるスペースの創出を実行したいですね。

“障がい者がありのままに共に暮らしていける街”。すべての人が“合理的配慮”でお互いに分かち合う福祉社会を障がい者当事者の声を聴いて実現する街。

“お年寄りが寝たきりにならない介護”を本気になって作りましょう。在宅介護は公的に支えていくもの。同居人や子どもがやるものといった最近の政策(菅政権・鎌ヶ谷市の姿勢)では一人一人に寄り添う地域包括ケアになりません。

男女共同参画

女性・男性・LGBT 個人の尊厳を尊重する街にしましょう。女性差別をなくし男女平等の社会にするためにも女性の働きを正しく評価する街にしましょう。

非正規労働者の75%が女性。その給料は男性の70%。これではだめでしょう。まずは非正規公務員(70%以上が女性)の正規化と処遇の改善です。フルタイムで働いても鎌ヶ谷市の非正規保育士さんは月給20万6千円。これでは生活苦しいです。

生理用品の無償配布も実施すべきです。

パートナーシップ条例も作りましょう。選択的夫婦別姓の環境整備もしましょう。

エッセンシャルワーカーの処遇を改善しなければいけません。基準は同一価値労働同一賃金です。公契約条例を制定して適正な賃金が支払われるような労働環境を自治体からも作っていきましょう。

平和

下総基地の騒音解決のため協定書を締結して改善策を進めたいです。米軍艦載機の離着陸訓練の使用は絶対反対です。オスプレの飛来は認めません。非核平和宣言都市鎌ヶ谷市です。みんなで平和行政を実行していきましょう。

都市整備と産業

初富交差点の右折を実現させましょう。北千葉道路によって船橋我孫子線で車が通れなくなるのは問題です。大柏川第二調節池・二和川洪水対策の早期完成を。安全に歩ける歩道の整備。都市農業の発展と内需拡大の地域分散型産業を再生可能エネルギーと一緒に創生しましょう。

国指定史跡「小金牧野馬土手・捕込」、国登録文化財「渋谷家住宅」、鎌ヶ谷大仏の保全と活用で鎌ヶ谷市の歴史と文化を大切にしましょう。

大津川と佐津間城跡と田畑を再生して“里山”を復活させましょう。

自治の街

市民一人ひとりが自分たちの街を自分たちの手で創っていく自治の街。“情報の公開と説明責任”で透明性のある鎌ヶ谷市を。意思形成過程に市民が参画できる市にしましょう。

まだまだ課題や夢がたくさんあると思われます。

ふじしろ政夫は皆様と一緒に大きな夢に向かってその一步を踏み出したい思いです。



「寝たきり老人」が居ない介護を

2021/04/12